

みんなの
特報班
相求
直通

県内「米軍機」目撃① 近年急増 深夜にも

中南予低空飛行憤り



2021年(令和3年)
3月21日
日曜日

発行所 松山市大寺町1丁目
12-1 電話番 0799-8511
愛媛新聞社
電話 089(935)2111 愛媛県内社
HP <https://www.shime-np.co.jp/>
©愛媛新聞社 2021



民家の上を低空飛行する米軍機とみられる機体。2020年1月16日、大洲市阿蔵で市民が動画撮影し市に提供した

「肱川に沿って米軍の飛行機が低空飛行で騒音を鳴らして飛行しています。あそこまで低空飛行する必要があるのでしょいか?」「軍用機と思われるものが頻繁に上空を通過します。迷惑です。ぜひ調査を」「低空飛行していた飛行機を見ました。米軍機でしょうか?」「今日も回数、高度ともにひどい」。愛媛新聞の「真相追求 みんなの特報班」(通称・みんな特)に、LINE(ライン)で登録した「友だち」からこうした声が相次ぎ寄せられている。

米軍機とみられる航空機からの目撃例もあり、騒音を訴える声も多い。2019年度から県内で急増している。県によると、18年度に3件だったのが19年度は90件となり、20年度は2月3日まで1257件(県が防衛省に照会中の分を含む)に達した。昼夜を問わず午後11時を回ってか

目撃が急増している。大洲市では、住宅地近くを飛行の様子など複数の動画が撮影されている。「なぜ低空を飛ぶ」。住民からは恐怖と憤りの声が聞こえてくる。見慣れた風景に、こゝろ音とともに突如割り込んでくる機体。平和な日常とのアンバランスさが人々に

不安を感じさせている。一体何が起きているのか。特報班はまず、目撃した住民の声を集めることにした。

(中井有人 栗師神亮太)
|| 5面に続く

資料④